みさかえの園だより

第８号　2010年１月
発行所
社会福祉法人　聖家族会
発行責任者　中山和子
編集　総合活動企画委員会
〒859-0167長崎県諫早市
小長井町遠竹2747-6
☎ 0957 - 34 - 4520
FAX 0957 - 34 - 4521
[年２回（７月／１月）発行]

吉岡冨貴子先生の百歳の長寿を祝って

理事長　中山和子

みさかえの園に「むつみの家」開設当初、常勤医師の確保が大変難しく苦労を重ねました。その時私たちを助けてくださったのが吉岡冨貴子先生でした。十一年間、むつみの家の医師として、入園している子供たちのため、本当に親身になって診療に当たっていただき、時には他の施設の子供たちも診ていただきました。

先生の心を打つ一文が記念誌に残っています。その一部をご紹介いたしましょう。

『ある脳性麻痺の女の子が入園して一週間ほど経った日のこと、病室を回っていた私に女の子が思いつめたような眼差しで「先生！」とことばをつかえつかえながら「お願いがあるの・・お母さんになって！」と一生懸命に申します。全く予期せぬ言葉だったのでハッとしました。でもその言葉は私の心に深く食い込みました。その子は精神面でかなり発達した子です。入園以来暗く、うつうつとしていました。「ああ私でよかったらお母さんになるわよ。」思わず涙しつつ抱きしめるとパッと明るい顔になり、「ああ安心した」と申します。家にはお母さんがいるのです。「お家にお母さんがいるから、病院かあちゃんよね」と言いますとその後巡回する度に「病院かあちゃん」と言います。すると他の子供たちまで「病院かあちゃん」と言うようになりました。結婚することなくこの年まで子供に恵まれなかった私に神様は百九〇名の子供を一時に授けて下さったのでした。』

その頃の子供たちの多くは天国に召されましたが、天国から「病院かあちゃん百歳になっておめでとう」と喜んでいることでしょう。私はみさかえの園を代表してご自宅に伺い祝辞をお捧げいたしました。

聖母マリア様は、ご自分の事業である「みさかえの園」にたくさんの良い職員をお与えくださいます。いつもマリア様に、そして皆様に感謝しております。

福祉事業は何より人です。中身であり外観ではありません。これを心に留めて全職員一体となって、心身に障害を持った方々の真の幸せのため、力を合わせて愛の奉仕に勤めてまいりましょう。

その後、吉岡先生は平成二十一年十一月二日長寿を全うされ帰天れさました。御冥福をお祈り申し上げます

「スポーツで親睦を！」

中村慎一郎

今回紹介しますのは、二十一年十月十八日に開催された長崎県知的障害者福祉協会主催による、第三十三回施設職員球技技術研修大会（スローピッチソフトボール）についてです。この大会にみさかえの園からは、めぐみの家・第二めぐみの家から一チーム（十名）、のぞみの家から一チーム（十名）が参加し、全部で二十五の事業所が集まり大会が行われました。

この大会の目的は、事業所間の親睦はもちろんですが、利用者の球技大会（ソフトボールやバレーボール等）も毎年行われていますので、球技指導の技術研修も兼ねて行っております。試合結果の方は、両チーム共良い成績を得られませんでしたが、楽しく参加することができ、良い交流ができたと思っております。

めぐみの家・第二めぐみの家

恵みに満たされた家族

副園長兼生活支援主任
中田ソイ

新年のおよろこびを申し上げます

一日を始めるにあたって、一日を終えるにあたって神に讃美と感謝を捧げましょう。お祈りで始まりお祈りで終わる一日。今日も溢れる恵みの中でお互いを思いやり、ささやかでも精一杯自分にできる事を大切にし、神様と皆様の愛情豊かな中で一年をつつが無く過ごさせて戴きました。神様、皆さまありがとう。

私達は「恵に満たされた家族」を目標にその雰囲気の中で一年を過ごさせて戴きました。年々障がいが増える中、変わらないのは神様に祈る姿、恵みの中に守られている事を実感し祈る姿は最高に美しい。

恵みの中に戴いた新年は「協力の中の喜び」を目標とし、神様、施設長を軸に小さいささやかな協力から最大の喜びがあふれる家族を目指し、障がいを持つ方達が、人間として「神様から戴いたいのち」の尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるよう祈りの中に支援してまいります。

地域との関わり

第二めぐみの家生活支援員
山崎亜沙美

十月秋空の下、十一日に小長井町グランドにて「こながい体育祭」が開催されました。めぐみの家・第二めぐみの家も招待を受け利用者・職員総員十九名が参加しました。利用者の方も地域の方に交じり、徒競争やパン食い競走、チャンスゲームに参加しました。

出場する競技について優しく、わかりやすい説明があり、応援もして頂きました。また、利用者の方も自分たちが出ていない競技でも知っている人、知らない人に関わらず一生懸命、応援をしている姿が印象的でした。

競技の参加がない時に、テントで過ごしている時や移動している時などにたくさんの方が声を掛けて下さるなど交流を深めることができ、楽しい一時を過ごすことができました。

今回の経験は、普段の生活で地域との関わりが少ない利用者の方にとって、いつもと違う顔ぶれと関わり、違う風景を見たりすることによって生活の幅が少しでも広がったのではないかと感じました。また、地域の方も利用者の方と関わられて、障がいを持っておられる方にたいして、どのような考えをもたれましたか？と問いかけて見たい気持ちも生まれました。

今後、もっと地域の方と利用者の方、双方が関わりを深める事でお互いを理解し、助け合っていくことで、よりよい社会になるのではないかと思いました。

イノシシとの知恵比べ

めぐみの家支援員
中村慎一郎

よく晴れた秋空の下、我が、めぐみの家サツマイモ畑にも収穫の時が来ました。誰もが収穫の秋は、心うきうきするのではないでしょうか。特にサツマイモの収穫ともなると、作業班みんな大はりきりです。

手づかみで大きく実ったサツマイモを引き抜きながら「大きいのがはいっとる！」「あ！折れたー」「こらーおらんとよー」と歓声が上がります。思いおこせば一昨年、いのししに食べられ全滅。今年こそはと担当職員、知恵を絞ります。「畑全体を網で囲い電気ピカピカ作戦！」。いくらかの被害はあったものの全滅は逃れることができました。

収穫したサツマイモは、その後ふかしイモ、焼きイモにして笑顔いっぱいで美味しく頂きました。その後方で腕を組み誇らしげに見つめる担当職員の姿がありました。

むつみの家

新年のご挨拶

診療部長　近藤達郎

新年あけましておめでとうございます。

平成２０年にスタートした新むつみの家は皆様のご理解ご支援のおかげで２度目の新年を迎えることができました。移転当初はより使い勝手が良いような各場所の使用法や各部署の連携のあり方などを模索する状況でしたが、徐々に確立できております。

新築移転と同時に、在宅の障害児者に対しても積極的に支援する目的で開設した「総合発達医療福祉センター」も軌道に乗ってきました。今後も、障害児者とその家族を支援し、地域に根ざした展開が出来ていければと願っている次第です。

昨年から流行しております新型インフルエンザは、まだ収束の傾向が見られておりません。本施設の全ての利用者に万全の体制で対応することが望まれます。そのためには私ども自身の健康管理に留意して過ごしていきたいものです。

今後の福祉施策もさらに変動があることも想定されますが、利用者の皆様の利益を第一に考えつつ、「優しい施設」の維持に邁進できることを願っております。本年もご多幸な年となりますよう祈念いたします。

栄養科は今“おもてなしの心”生きた味に向かって前進中

栄養士　正林久美子

むつみの家の給食業務は、病院と福祉施設という両方の機能を有する施設で、家庭的な雰囲気に加えて入所者の性、年齢、身体状況、生活活動、病状に合わせたきめ細やかな給食の提供を行っています。

入所利用者にとって、食事は日常生活の中でも特に大切なものであり、食事内容の質、量の決定は慎重でなければなりません。

栄養所要量の設定に関しては統一的見解もなく、個人差が多く様々な疾患をもつ方々に対し、試行錯誤を繰り返しながら一応の基準量を設定していましたが、当時、長大の衛生学教室に籍を置かれていた横尾先生にご尽力を頂き、当園独自の算定基準を設けました。

高カロリーで高エネルギーのキャッチフレーズで提供していた方々も、今日では高齢へと転じ、普通食は軽減、ミキサー食を経て濃厚流動食に移行される方が二〇年前と比較しますと一〇名から約五倍、五〇名に増加、また新たに入所された方も含め、幅広い年齢層への食事、食形態の考慮が必要になりました。

平成十六年より作業療法士や言語聴覚士との連携を得て、月一回摂食について話し合いを重ね、試作を繰り返し、むつみの家独自のムース食、押し潰し食を完成させました。従来の刻み食やミキサー食を、見た目がよくスムーズに嚥下できる美味しいムース食として、主菜と汁物を毎食提供しています。ソフト食に関しては、増粘剤の開発により急速に進んでいますので、常に情報を入手し、さらにより満足できる形態へと進んでいかなければと思います。

新施設移転後、ドライシステムへと業務内容が大きく変更し、環境の面では温度・湿度の問題のクリア、最新機器の導入による効率化もありましたが最も時間を要したのが、汚染区域、非汚染区域による作業導線の変更でした。保健所から衛生面での厳しい指導をうけ、ようやくその動きが定着したようです。なんといっても一番のメリットは衛生的設備に沿った配慮の中で、温冷配膳車の導入による、食事の提供ではないでしょうか。

人間の基本的な欲求の一つは食べることであると言われています。今後個人対応の増加は追い追い拡大すると思いますが・・・・。

新たな年を迎え、今後も年間を通して行事食やイベント食を盛り込み、四季折々の香りと味を食卓に届け、可能な限り、経口食で提供し、楽しみや歓びを味あわせてあげたいと思っています。

そして機会が許せば、イベントによるバイキングを通じて保護者の方と過ごせる一家団欒の場を提供できればと思います。

最も大切な事は、“もてなしの心”そのものではないでしょうか。心を込めて生きた味として提供し、幸せと満足感を味わって頂けるよう、日々努力をしなければと考えています。

（写真）

毎食二十六種、約一六〇名の個人対応を提供しています。緊張の時間が続きますが、やっとその緊張からときほぐされ、なごやかな雰囲気が出現するのは夕食配送後のひとときでしょうか？

のぞみの家

新年に寄せて

新年 おめでとう ございます

施設長　木村トミ

昨年も、たくさんの方々のお世話になり、大過なく過ごすことができました事、厚く御礼申し上げます。

「政権交代」今年はどんな年になるのでしょうか、利用者にとって、又、施設にとって暮らしやすい、幸せな生活をと願っていますが、聖ヨゼフ様が、勇気と忍耐をもって幼子イエス様、マリア様を守り通されたように、利用者一人一人を見守る事ができたらと、改めて決心しております。

さあ、今年の船出です。利用者のご家族の皆様、地域の皆様、そして職員の皆様、聖家族会の組織の下で、お互いに、力と知恵を振り絞って、助け合いながら頑張ってまいりましょう。

神様のお助けを願いながら。

【私の夢・希望・頑張りたいこと】

のぞみの家

今号のテーマである「今年の抱負」について、利用者の方にインタビューしました。質問の内容が少し難しかったようですが、編集者の２０１０年の抱負を参考にしてもらい、いろいろな夢や希望を語っていただきました。それぞれに色々な夢や希望、頑張りたいことがありましたが、全体として、まじめに作業や当番の仕事を頑張りたいと答える方が圧倒的に多かったという印象でした。

「お仕事（作業）を頑張りたい。スウェーデン刺繍でウォールポケットやエプロン、座布団、クッションなどを作りたい。折り紙を職員にあげて喜んでもらいたい。エプロンドレスを買いたい。」《Ｋ・Ｎさん》

《Ｈ・Ｉさんとの会話》

Ｈさん「自立が目標。」

支援員「どうしたら自立できますか」

「早寝早起きすること。お友達と仲良くすること。集団行動を頑張りたい。」

「マイペースで頑張る。風邪を引かないように気を付ける。病気が治ればいいなあ。」《Ｈ・Ａさん》

「嵐」の櫻井翔くんに会って、長崎で一番好きな所を聞いてみたい。（先日、テレビのニュース番組で櫻井君が長崎を訪れたことを知っている利用者の希望でした。）《Ｍ・Ｈさん》

「私は、もっと部屋をきれいにしたい。そしたらすばらしいでしょう。そして体を少し痩せたい。今、足を強くなりたい。」《Ａ・Ｋさん》

「手芸が一番好き。」《Ｈ・Ｙさん》

「そうじ・手芸・外作業。でも一番好きなのは、嵐」《Ｍ・Ｔさん》

「食器洗いや洗濯場の手伝いなどの当番を頑張ります。人の役に立つことをするのが好きです。それから松山千春に会いたい。北海道に行きたい。」《Ｔ・Ｈさん》

「ジャニーズの皆さんに会いたいです。」《Ｋ・Ｙさん》

「東京に行って、五木ひろしに会いたい。そして、歌を歌ってもらいたい。」《Ｍ・Ｙさん》

「私の夢は、ＫＡＴ―ＴＵＮとＮＥＷＳと嵐に会いたいです。いつも夢で、ＫＡＴ―ＴＵＮが好きなのでいいなと思います。よるＢＳ２で毎週６時に中丸君と小山君が司会で出て、それで大好きになりました。」《Ｅ・Ｋさん》

「掃除を頑張りたい。洗面所のそうじを頑張りたい。」《Ｍ・Ｍさん》

「折り紙で鶴を作るのが好き。たくさん作りたい。」《Ｓ・Ｔさん》

「２階のトイレ掃除を頑張る。」《Ｓ・Ａさん》

「クロス刺繍を頑張る。」《Ｙ・Ａさん》

「散歩を頑張りたい。」《Ｋ・Ｈさん》

「自分のベッドのまわりを綺麗に片づけてみたいなあと思います。」《Ｎ・Ｓさん》

「掃除を頑張りたい。自分の部屋を綺麗にするのが楽しみ。」《Ｍ・Ｍさん》

「カラオケ。」《Ｈ・Ｕさん》

「畑。」《Ｔ・Ｍさん》

※質問の答えには、利用者の方一人一人に話して頂いたものと、メモ用紙に書いて頂いたものがあります。書いて頂いたものは、文法上誤りがある部分もありますが、そのままで転記しましたことをご了承ください。

（福元）

あゆみの家

事務長　廣沢暁子

新春のお慶びと神様の豊かなご祝福をお祈り致します。今年もみさかえの園の事業が地域の皆様から喜ばれるものとなりますよう願っております。

早いもので、あゆみの家の事務長を交代して一年になります。「事業は人なり」と言われます。創立当初の職員によって今のあゆみの家の土台が築かれ、又その後に多くの職員の努力と協力が積まれてきました。静寂な闇を貫けて「今日一日の感謝と夜のご保護を願う為」の夕の祈りの放送が毎日心地よく聞こえてきます。これも前世代の退職された職員と現職員との協力があって継続実現している証の一つです。

看護と福祉を担う病院施設としてこれからも「安全・安心・信頼」の業務が果たせるよう新しい年を神様のお守りのうちに力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

新年に誓う

新春早々の行事「新年の集い」。例年、居室ごとに新年の抱負や目標を文字にして紹介しています。

病棟では昨年後半から新型インフルエンザに怯えながらも、なんとか無事に平成二十二年を迎えることができました。

今年は寅年。毛皮の美しい模様から前身は夜空に輝く星と考えられていたそうです。寅年の由来のように、私達もピカピカ輝く一年を過ごすことができますように。

それでは各居室の今年の抱負をご紹介します。

一病棟利用者数名がインフルエンザに罹患したため病棟閉鎖になってしまい、最初の行事は二病棟のみの集いとなりました。

いつも笑顔で楽しみたいね
一歩一歩前進しよう
たくさんの福が訪れますように
いつも輝いていたいね
つよい絆で結ばれている仲間
快適で心地よい環境で
有意義な時間を…

利用者の願いは、私達職員の願いであり同時に使命でもあります。悲しいことやつらいことを喜びや楽しさに変えられるように。痛みや苦しみが少しでも和らぐように。職員が一丸となって支援していきたいと改めて感じます。

利用者・職員をはじめ全ての人が幸せに満ちあふれた温かい一年にしたいものです。

福祉課　秋吉牧子

みさかえヘルパーステーションひびき

サービス提供責任者

松崎　史恵

昨年、2月よりサービス提供責任者を引き継ぐこととなり、訪問先の道順を覚え、深呼吸してチャイムを押すことより始まりました。　4月より「障害福祉サービス報酬改定」「特定事業所申請」等の手続きでめまぐるしく過ぎていきました。

ひびきは、あゆみの家、むつみの家よりの出向で、細々とやっている小さい事業所ですが、様々なところから、求められることは、大きく・幅広く・深い…ものだと痛感した一年でした。

今年も、「笑顔（スマイル）で、心にひびくサービスを！！」をモットーに、サービスの充実と質の向上に務めていきたいと思います。

スマイルサポート

新年あけまして　おめでとうございます

徳久伸一郎

スマイルサポートも今年で4回目の新年を迎えることができました。これも利用者の皆様、その家族の皆様、関係機関の皆様に支えられてここまでやってこれたのだと確信しております。

最近では先行きが見えない世相を反映してでしょうか。相談内容も多様化、複雑化し困難な事例が増えてきました。また、スマイルサポートが設立した年に始まった「障害者自立支援法」も今では民主党になったことで廃止の方向性が出され新しい法律「障がい者総合福祉法（仮称）」が制定されようとしています。

まだ見えてこない法律に関し、障がいを持った方やご家族の方も不安でいっぱいかと思います。新しい法律が、利用者、その家族、はたまた社会全体にとってよりよいものであったらと思います。そして、今年も、利用者の方々、その家族の力になれるよう関係機関と協力しながら支援できたらと思っています。

「いらっしゃいませ！」

研修会館

梅林　好徳

皆さん、こんにちは。

研修会館食堂部です。

4名の女性職員と2名の男性職員、計6名の職員で毎日頑張っています。皆さんに少しでもやすくてボリュームのある物、おいしい物を食べてもらえるように努力しております。

寒い季節となり、おでんなどの季節メニューも用意しております。また日替わり定食なども温かい物は温かく、冷たい物は冷たく、少しでもみなさんが「ホッ」とできる、そういう空間を作れたらと職員一同思っております。たまに業者の方から「一般の人も食事できるんですか？」と尋ねられることがありますが、職員はもちろん、一般の方も、ご家族で来られる方も、大歓迎でお待ちしております。

写真は五百円の幕の内弁当です。

なかには「チャンポンがおいしかった～」とか、「わざわざ食べに来たとばい」などすごく有り難い言葉をいただき、逆にお客様に元気づけてもらうこともあります。ほんとうに嬉しく思います。

ぜひ、この寒い冬に研修会館で心から温まって下さい。

売店部の方も、パンやお菓子など揃えております。

お立ち寄り下さい。

日替わり弁当受け付け中

（内線687）

食堂の人気メニュー

職員一同、お待ちしております。

第1位　ちゃんぽん

第3位　うどん

第2位かつ定食

日替わり定食　好評メニュー

第1位　ハンバーグ

第2位　鶏唐揚げ

第3位　トルコライス

デイスペース『あん』活動報告

あけましておめでとうございます。
お陰様でデイスペース「あん」も二度目の新年を迎えることが出来ました。生活訓練は、売店・喫茶・生産活動などの仕事が定着し,収益の中から一時金が支給され,利用者の満足感と自信に満ちた姿に頼もしさを感じています。生活介護も一人一人に応じた個別支援の充実を図りつつ,売店や生産活動とリンクしながら日中活動を工夫し,「あん」らしい味のある活動が提供出来ているのでは・・・と感じています。
今年も各利用者のニーズに応じながら楽しく・生きがいの持てる「あん」を目指して共に歩んで行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。　　（久井睦美）

デイスペースあん今年度のトピックス

①4月から生活介護（10名→14名）生活訓練（10名→6名）へ定員変更
②売店のパン販売日が毎週火曜日から金曜日まで週4回に増加
③5月2日（土）「みさかえまつり」にて喫茶・売店コーナー担当
④6月12（金）・16（火）日保護者会開催
⑤7月より保護者有志によるボランティア開始（毎月第4金）
⑥7月25日（土）「わくわくふれあいフェスタ」参加
⑦「あん」喫茶にてコーヒーチケット（5枚＋サービス券1枚）を￥500で販売開始
⑧8月27日（木）「むつみの家夏祭り」にて喫茶・売店コーナー担当
⑨9月15日（火）「あんミニレクリエーション」開催
⑩養護学校からの実習生の受け入れ（5名）
⑪生産・販売部門の収益を一時金として支給（生活訓練及び生活介護の作業班対象）
⑫10月「むつみの家秋祭り」に参加
⑬11月6日（金）「ミカン狩り」に参加
⑭12月25日（金）「あんクリスマス会」開催

⑪一時金の支給の様子
少し緊張した表情で一人ひとり所長から受け取りました
使用目的は・・・何かな？
後でソッと教えてね～
最後は満面の笑みに包まれていました

⑧夏祭り
お店当番がんばるぞ、オーッ！
ハッピに浴衣姿ステキでしょう

⑫秋祭り（仮装カラオケ）
「てんとう虫のサンバ」の曲で「チームワーク賞」をとりました

⑫秋祭り
真剣な眼差しと身のこなしで商品ゲットだぁ、ワーイ

⑨あんミニレクリエーション
応援合戦・パン取り・風船割り・仮装・車椅子ダンス等々盛り上がったよ～
ところで私達はだ～れ？

寅年
たくましく・強く・豪快にそして慎ましく

正月特集

今回は、お正月の行事をテーマに特集しました。新年のあいさつと言えば「おとそ」。お正月の遊びと言えば「福笑い、すごろく、カルタ」などありますが、皆さんはどんなお正月を過ごしたのでしょう。やっぱりお正月のご馳走でしょうか。

あゆみの家　毎年恒例のおとそです。中身はきちんとお酒ですよ～。

むつみの家　4日新年のあいさつが行われ、晴れやかな表情で利用者の方も職員もおとそを頂きます。

めぐみの家・第2めぐみの家

みんなで楽しく福笑い

新年会の食事です。おいしそう～！

のぞみの家　新年のごあいさつ

「今年も元気で、明るい年にしましょう！」

各施設の住所

ホームページ　http://WWW.misakae.or.jp/

○ めぐみの家・第２めぐみの家
〒859-0167　☎0957-34-3112
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-10

○ むつみの家　〒859-0164　☎0957-34-3113
長崎県諫早市小長井町牧 570-1

○のぞみの家　〒859-0167　☎0957-34-3114
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-11

○あゆみの家　〒859-0167　☎0957-34-3115
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-3

○法人事務局　〒859-0167　☎0957-34-4520
長崎県諫早市小長井町遠竹 2747-6

○総合相談室　〒859-0164　☎0957-34-9700
長崎県諫早市小長井町牧 570-1

♣みさかえの園サテライトセンター
〒859-0117　長崎県諫早市高来町峰 468-27

相談支援事業所スマイルサポート
☎0957-27-7010　FAX 0957-27-7006

みさかえヘルパーステーションひびき
☎0957-27-7005　FAX 0957-27-7006

○デイスペース『あん』生活介護・生活訓練
〒859-0164　☎0957-34-9700
長崎県諫早市小長井町牧 570-1

編集後記　月日の流れは早いもので、編集後記担当今回で２回目。みさかえ新聞も４年目突入！担当だと伝えられた時の第一声は「えー！もう私ですか？早さー！」。利用者の方々のたくさんの笑顔に励まされ、支えられての毎日。このすばらしい笑顔を、少しでも多く、このみさかえ新聞に取り込もうと試行錯誤？。みなさんに、めぐみの家の笑顔とどいていますか？むつみの家が移転して早１年。跡地は今では職員駐車場。あったものが無くなると淋しいものですね。でも編集委員の心は一致団結。今年も元気一発！みさかえの笑顔を発信するぞ――！　（中村）